

令和4年度 事業報告

1 事業の概要

少子高齢化や情報通信技術の発展等に伴い社会経済構造が変化する中、誰もが働きやすい就業環境への改善や長時間労働の抑制など働き方改革が進められている。

また、新型コロナウイルス感染症については、基本的な感染対策の徹底、ワクチン接種や保健医療体制の充実等が図られ、感染防止対策と社会経済活動との両立が進んだ。一方で、緊迫が続くウクライナ情勢等を背景に、エネルギーや原材料等の価格高騰が消費者物価にも波及し、企業経営と県民生活の双方に大きな影響を与えた。

こうした中、当協会では、中小企業等に従事する勤労者やその家族、県民等の福祉向上と中小企業の活力増進を図るため、国・県・市町の施策、労使団体等との緊密な連携のもと、「ワーク・ライフ・バランス(WLB)の促進」、「勤労者等の文化・スポーツ・レクリエーション活動の推進」、「勤労者の福利厚生の実現」、「労働・勤労者福祉の調査研究・情報提供・相談」の4本柱で総合的に事業を推進した。

(1) ワーク・ライフ・バランス(WLB)の促進

企業や団体が組織力を強化し、働き方改革や新たなワークスタイルの導入を進め、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた活動に幅広く取り組むことにより、より多くの健康長寿企業を生み出せるよう、政労使三者合意に基づく取組の集積と成果を活かし、ひょうご仕事と生活センターにおいて、普及啓発、相談・実践支援、研修の企画・実施、中小企業への助成、調査・研究を柱として積極的な支援を展開した。

(2) 勤労者等の文化・スポーツ・レクリエーション活動の推進

勤労者やその家族をはじめとする県民の文化・スポーツ・レクリエーション活動と地域活性化を促進するため、兵庫県等からの指定管理を受け、兵庫県中央労働センター、姫路労働会館及び但馬ドームの施設管理運営を行った。各施設ではギャラリー展やスポーツ教室等の企画事業を実施して利用の促進に努めた。

(3) 勤労者の福利厚生の実現

中小企業従業員の福祉向上と企業の安定した労働力の確保・定着を図るため、「中小企業従業員共済制度」において多彩な福利厚生サービスを提供するとともに、非正規雇用労働者を含む加入促進を図った。勤労者福祉基金を活用し、教育資金融資や勤労者福祉活動に対する助成を行った。

(4) 労働・勤労者福祉の調査研究・情報提供・相談

県内有数の労働関係図書資料を有するひょうご労働図書館の運営や、雇用労働問題をテーマとした講演会を通じて労働・勤労者福祉に関する情報提供を行った。貴重な労働運動の資料収集に取り組むとともに、労使連携による専門的な労働相談を実施した。

2 ワーク・ライフ・バランス(WLB)の促進

<重点業務取組>

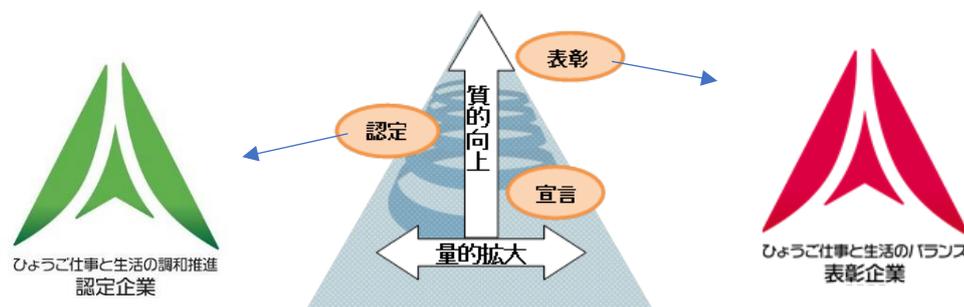
- ① 3拠点(神戸、阪神、姫路)の機動力を生かし、宣言企業を戦略的に発掘
- ② 「質的向上」により重点をおいた取組を推進し、認定・表彰企業にステップアップ
- ③ 企業への情報発信に加え、新たな働き手となる学生をはじめ県民に向けた広報の強化
- ④ ポストコロナ時代を見据え、ICTを活用した新しいワークスタイルの実現を支援

<県内企業でのWLBの取組実績>

宣言企業数、認定企業数ともに、着実に取組が広がっている。なお、令和2、3年度にコロナ禍でテレワーク導入支援助成金の利用に伴い宣言企業数が急増したが、令和4年度はコロナ禍前の状況に戻った。

年 度	H21~30	R元	R2	R3	R4	累 計	R4目標
宣言企業数(内外に取組を宣言)	1,937※	281	488	401	277	3,384	300
認定企業数(取組が一定水準超)	192※	52	56	65	72	437	70
表彰企業数(先進・模範的取組)	97	15	15	12	13	152	—

※宣言企業：H25から開始、認定企業：H26から開始



※令和元年度にロゴマークを新たに作成。認定企業がフレッシュグリーン、表彰企業がワインレッド

<主な事業の実施実績>

(1) 推進体制

神戸、阪神、姫路の3か所の事務所を拠点に、国や県の表彰・認定企業等のリストアップを行い、機動力を生かした積極的な企業訪問により、宣言企業を戦略的に発掘するとともに、それぞれの企業の状況や課題に応じたきめ細かなサポートを行った。

(2) 普及啓発・情報発信

情報誌やホームページ等により、先進事例やセミナー情報、各種助成金等の情報を提供したほか、企業・団体、県民を対象とした普及啓発イベントとして、WLB推進月間の11月には、WLBフェスタ(企業表彰、キャッチフレーズ優秀作品表彰、講演会等)を兵庫県公館で開催した。



① WLBフェスタの開催

- ・開催日・会場：令和4年11月22日 / 兵庫県公館（137人参加）
- ・内容：表彰式（ひょうご仕事と生活バランス表彰企業※、WLBキャッチフレーズ受賞者）
キーパンソン養成講座修了式
講演「ノーノーマル時代のワーク・ライフ・バランスとは」
（山口 周氏（株式会社ライブニッツ代表））

※ひょうご仕事と生活バランス表彰企業：

認定企業のうち先進的・模範的取組で顕著な成果を上げた企業等13社を選定

Earthink(株) (三田市)	(有)ウェルビー (加西市)
キンキテレコム (株) (姫路市)	神戸化成(株) (神戸市)
社会福祉法人しらさぎ福祉会 (姫路市)	住友ゴム工業(株) (神戸市)
(株)大栄螺旋工業 (西脇市)	(株)成田 (洲本市)
(株)ハヤブサ (三木市)	姫路信用金庫 (姫路市)
兵庫ベンダ工業(株) (姫路市)	一般社団法人フルーリル (西宮市)
医療法人社団むらまつ歯科 (西宮市)	(50音順)

② WLB推進キャンペーンの実施

県民からのWLBキャッチフレーズ募集(応募作品2,434点)、入賞作品掲載カレンダーの配布、受賞作品の情報誌への掲載等を行った。

県雇用対策三者会議賞 (グランプリ)	画面越し だけど伝わる あなたのやる気
兵庫労働局長賞・働き方改革賞 (準グランプリ)	いつ休む 声をかけあい 取りやすく
ひょうご仕事と生活センター長賞 (佳作)	言わせない 「仕事と私どっちが大事？」 ワーケーション どこでもオフィスが兵庫の魅力

年 度	H30	R元	R2	R3	R4	備 考
企業向け情報誌	45,500	48,000	50,500	40,000	40,000	発行部数(年4回、R2まで年5回発行)
学生向け事例集	20,000	20,000	20,500	21,000	20,000	発行部数(年1回発行)
WLBフェスタ	283	323	194	205	137	参加者数 (R2,3はオンライン数含む)
ポータルサイト運営	48,378	50,863	78,347	82,308	58,141	アクセス数

(3) 相談・実践支援

企業等の組織内でWLBを効果的に推進するための相談を受け付け、課題に応じた適切な専門家を派遣するとともに、実践支援や研修情報の提供等を行った。

① ワンストップ相談

来所者等への面接、電話、電子メール等による相談に随時対応した。

② コーディネーター・コンサルタント・外部専門家の派遣

企業等にセンターのコーディネーター、コンサルタントを派遣し、WLBの実現に向けて最適な取組方法等を提案した。

企業ニーズに応じて、センター登録の外部専門家(社会保険労務士、中小企業診断士、キャリアカウンセラー等)を企業に派遣し、経営陣や担当者に対して具体的な助言を行った。

③ テレワークサポートセンターの設置

テレワークシステムの構築・運用に関する相談に応じるICTアドバイザーを配置し、相談から導入までの支援を行った。

併せて、中小企業への在宅勤務システム導入などを助成対象としている「テレワーク導入支援助成金」の活用を促進した。

年 度	H30	R元	R2	R3	R4	備 考
ワンストップ相談	2,512	3,498	4,553	4,614	3,816	件数(ICT含む)
コーディネーター等派遣	1,604	1,771	1,996	2,103	1,961	R4目標件数2,000

(4) 研修企画・実施

各企業の課題に沿った研修のほか、組織内で中核的役割を担う人材を対象とした講座、WLBの取組が進んだ企業を対象とした勉強会、神戸・尼崎・姫路での地域セミナーなど、多様な研修を企画・実施した。また、WLB推進企業を集めた就職説明会を開催した。



① 企業等の課題に沿った研修の企画・実施

「仕事と介護の両立支援」「生産性を上げるワザ」「職場環境改善とメンタルヘルス予防対策」「タイムマネジメント」等をテーマに、小規模企業等を対象とした集合型の合同研修や個別企業等を訪問して行う出前型の研修を実施した。

② キーパーソン養成講座

WLBを効率的に進めるためのアクションプランの作成など、企業や団体自らが主体となってWLBの実現推進活動を実行するため、その中核的役割を担うキーパーソン養成を目的とした4回の連続講座を開催した。

また、参加者同士の交流の場を設けることで取り組み継続の意欲を高めるため、OB・OGの会を開催した。



③ 認定・表彰企業向け勉強会

認定・表彰を受けた企業・団体を対象に、WLB実現に向けた具体的な課題を解決するための考え方を学び、改善策を立案するための勉強会を年3回開催するとともに、相互の学びの場や交流会などを通じてネットワークづくりを進めるなど、企業の自主的な取組への支援を行った。



④ WLB地域セミナーの開催

神戸、阪神、中播磨の各県民局・県民センターや経営者団体・労働組合等と共催で、それぞれの地域課題に対応したテーマを取上げてセミナーを開催した。

【WLB地域セミナー】

地域	開催日／会場	内容	参加者数
神戸	10月4日 兵庫県民会館	講演「Z世代の価値観や本音を理解しよう」 (株)ループス・コミュニケーションズ CEO 斉藤 徹氏 事例発表 (株)フェリシモ	96
阪神	11月14日 尼崎商工会議所	講演「生産性向上への課題と対応」 関西大学総合情報学部教授 古賀 広志氏	71
中播磨	10月28日 姫路商工会議所	講演「ジェンダー平等と女性のエンパワーメント」 大阪芸術大学客員准教授 谷口 真由美氏	73

年 度	H30	R元	R2	R3	R4	備 考
従業員向け研修	198	209	115	197	215	R4目標件数200
キーパーソン養成講座	19	22	14	18	21	修了者数
認定・表彰企業勉強会	22	65	46	49	33	参加者数

⑤ WLB推進企業を集めた就職説明会の開催

WLBの取組を進める宣言・認定企業、及び先進的な取組を行っている表彰企業を集めた就職説明会を開催した。

ア宣言・認定企業を集めた合同就職説明会の開催

- ・実施日 10月25日 ・場所：サンボーホール ・参加企業数：32社
- ・参加学生数：49人

イ表彰企業を集めた企業魅力発信フェアの開催（オンライン）

- ・実施日 12月10日 ・参加企業数：44社 ・参加学生数：111人

(5) 中小企業への助成

育児・介護休業制度及び育児・介護による短時間勤務制度の利用促進や女性や高齢者が働きやすい職場環境の整備促進、テレワーク導入支援のため、3種類の助成制度の活用により中小企業のWLBの実現に取り組んだ。

① 育児・介護代替要員確保支援助成金

中小企業等における育児や介護休業の取得を促進し、休業者が職場復帰しやすい職場環境を整備するとともに、育児・介護による短時間勤務の利用促進を図るため、休業者・短時間勤務者の代替要員にかかる賃金の一部(休業コース：代替要員の賃金の1/2、月額上限10万円・総額上限100万円 / 短時間勤務コース：短時間勤務の代替要員の賃金の1/2。育児の場合、月額2.5万円・小学3年生まで)を助成した。

② 環境整備支援助成金

女性専用トイレ・更衣室、事業所内託児スペース、休憩室の整備、高齢者用安全補助設備の整備など、様々な人材の就労や育児・介護等と仕事の両立を支援するために職場環境の整備を行った中小企業等に対し助成金(対象経費の1/2以内、上限200万円)を支給した。

③ テレワーク導入支援助成金

多様で柔軟な働き方を推進するため、テレワーク環境の整備を行った中小企業等に対し助成金(対象経費の1/2以内、上限200万円)を支給した。

年 度	H30	R元	R2	R3	R4	備 考
育児・介護代替要員確保支援	93	93	83	84	100	R4目標件数100
休業コース	85	84	72	75	94	
短時間勤務コース	8	9	11	9	6	
環境整備支援	25	14	42	52	31	R4目標件数50
テレワーク導入支援	3	9	106	126	100	R4目標件数110

(6) 調査・研究

大学と共同して、WLBに関する調査・研究を進めたほか、働きやすい職場環境を目指す企業の従業員意識調査を実施した。

① 兵庫県立大学との共同研究

企業訪問による経営者層へのヒアリング調査や従業員へのアンケート調査等を行い、新たな視点での課題の洗い出しを検討するため、表彰企業等3社を対象にWLBに関する調査研究を兵庫県立大学国際商経学部と共同で実施した。



② 従業員意識調査の実施

従業員に対する意識調査アンケートを実施することにより、従業員の満足度を定量的に捉え、WLB実現の促進要因や阻害要因を分析し、調査対象企業が今後取り組むべき課題や改善策等の提案に生かした(57社、4,820人)。

年 度	H30	R元	R2	R3	R4	備 考
県立大共同研究報告会	5	4	3	3	5	研修会含む回数
従業員意識調査	43	62	41	67	57	実施企業数

3 勤労者等の文化・スポーツ・レクリエーション活動の推進

(1) 兵庫県中央労働センターの管理運営

勤労者等の会議室利用や産業労働関係団体の事務所利用等を通じて、勤労者の福利厚生や教養文化を高めるとともに、煉瓦ギャラリー等を活用した展示などにより、入居団体、利用団体、近隣団体等との交流拠点として運営した。

兵庫県と神戸市との協定(令和元年9月)に基づき、大規模災害時に発生する帰宅困難者の一時滞在施設に位置づけられたことから、備蓄品の整備等を行い、神戸市都心部の防災拠点として運営した。

<施設概要>

- ・延床面積 7,260 m²
- ・施設内容 大ホール(320人)、小ホール(150人)、視聴覚室(50人)、会議室7、駐車場等貸事務所使用分：18団体(1,263 m²)



<重点業務取組>

- ① 関係団体等への積極的な働きかけによる利用率・利用料金収入の向上
- ② 関係団体・地域団体との関係構築を通じた社会貢献活動の推進
- ③ 安全安心な利用のための4Sの徹底と設備管理の推進
- ④ インターネット環境の整備やオンライン予約の導入によるサービスの向上
- ⑤ 施設設備の老朽化への計画的な対応、利用者ニーズに沿った新設備の考案
- ⑥ 新型コロナウイルス感染症対策の徹底〔各施設共通〕

<施設利用実績>

令和3年4～5月の新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館、まん延防止等重点措置による予約取消等の影響を受けた。利用件数・人数・率ともに前年度を上回ったが、コロナ禍前の令和元年度には及んでいない。

年度	H30	R元	R2	R3	R4	R4目標
利用件数 (前年度比：%)	5,316 (104.3)	4,962 (93.3)	3,690 (74.4)	3,957 (107.2)	4,887 (123.5)	5,400
利用人数 (前年度比：%)	370,070 (105.4)	341,720 (92.3)	248,270 (72.7)	257,470 (103.7)	325,760 (126.5)	370,000
利用率(%)	51.1	47.6	35.9	38.6	46.9	52.0

<主な利用促進事業の実施実績>

① 煉瓦ギャラリー等を活用した展示

館内1階ロビーから2階へ続く煉瓦色の壁面を県民の幅広い層の活動成果を展示する場として提供し、来館者に披露した(R4年度12回計画、12回実施)



主な展示	内 容	来場者数
二四期会絵画展	神戸シルバーカレッジ 24 期 OB の方々による絵画の展示	8,010
くんじろうの原画展と絵手紙教室展	2021 年暮れに発刊した絵本の原画展と絵手紙教室生徒の作品展	2,809
日中交流写真展	石井亮一氏による写真展	5,961

② 自習室開放

夜間の時間帯において予約のない会議室 1 室を自習室として開放し、地域に貢献するとともに利用率向上につなげている。(R4年度 5回開放)

(2) 姫路労働会館の管理運営

播磨地域を中心とした勤労者や労使関係団体等の会合、研修、文化活動などのために会議室を提供し、勤労者等の福祉向上に資する活動を支援するとともに、お仕事川柳コンクールの実施、ギャラリー展の開催などにより、交流拠点として運営した。

新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、利用者が快適に利用できる空間を提供することを目指した運営を行った。

<施設概要>

- ・延床面積 2,416㎡
- ・施設内容 多目的ホール(270人)、会議室 5、サークル室 2、視聴覚室、和室、トレーニング室、駐車場 等



<重点業務取組>

- ① 労使関係団体への働きかけ強化、新規利用先の発掘・誘致による利用率向上
- ② インターネット環境の整備やオンライン予約の導入による利用者サービスの向上
- ③ 施設の特徴を生かした会館主催事業の企画充実による利用の促進
- ④ 施設設備の老朽化への計画的な対応、利用者ニーズに沿った新設備の考案
- ⑤ 日常的な施設設備点検による安全安心の確保
- ⑥ 新型コロナウイルス感染症対策の徹底〔各施設共通〕

<施設利用実績>

利用件数・人数・率ともに前年度を上回ったが、コロナ禍前の令和元年度には及んでいない。

年 度	H30	R 元	R2	R3	R 4	R 4 目標
利用件数 (前年度比：%)	6,268 (101.8)	6,065 (96.8)	4,594 (75.7)	5,058 (110.1)	5,655 (111.8)	6,200
利用人数 (前年度比：%)	290,962 (103.5)	289,376 (99.5)	225,272 (77.8)	253,953 (112.7)	281,266 (110.8)	289,000
利用率(%)	54.6	52.8	40.0	46.3	49.4	54.0

<主な利用促進事業の実施実績>

① 第18回お仕事川柳コンクールの実施

県、労使団体等との共催で、勤労者をはじめとする県民から「仕事」「ワークライフバランス」「新型コロナ禍で定着した新しい働き方」を題材とした川柳を募り、応募作品を館内に展示するとともに、優れた作品を表彰した(応募者数 72 人、応募句数 291 句)。

[主な受賞作品]

兵庫県知事賞	一筋の道光らせて鉋屑
姫路市長賞	懸命に思いを尽くす介護の手
兵庫県勤労福祉協会理事長賞	働ける楽しさを知る定年後
中播磨県民センター長賞	再雇用叶って締める靴の紐
連合兵庫西部地域協議会議長賞	目標は仕事も家事もデキる人
姫路経営者協会会長賞	あげたいなパパに育児の金メダル

② ギャラリー展の開催

広く県民から趣味等の作品を募集して、館内1階ロビースペースで展示し、来館者に憩いの空間を提供した(4年度6団体)。



主な展示	内 容	来場者数
心が伝わる魔法の筆文字 「伝筆」作品展	毎月開催されている伝筆教室参加者が、1つのテーマを基に作成した作品を展示。	9,900
笑顔文字 ひめじ教室作品展	当館で開催されている笑顔文字教室参加者の「文字と笑顔のコラボ作品」を展示。	10,200
筆ペン同好会作品展	当館で毎月開催されている筆ペン教室参加者の作品を展示。	32,000

(3) 但馬ドームの管理運営

但馬の豊かな自然の中で、天候に左右されない広大な空間を活用して、県民のスポーツ等の活動や地域間交流を促進する全県的な拠点として運営してきた。

令和4年度は、ドーム棟とその周辺設備の大規模修繕工事を実施したため、ドーム棟グラウンドは1年間にわたり利用休止した（5～6月を除く）。なお、野外グラウンド及びセンター棟は通常どおり運営を行った。

大規模修繕工事のため、指定管理制度第4期(平成29～令和3年度)は1年延長されたが、次期指定管理を受けるべく、更なる魅力向上を目指した新たな事業計画を策定・提案し、第5期指定管理（令和5～9年度）を受託した。

<施設概要>

① ドーム棟（県からの受託施設、延床面積:21,813㎡）

多目的グラウンド(14,000㎡)、開閉式屋根、観客席(1,196席)、トレーニング室、選手控室、多目的室 等



② 神鍋野外スポーツ公園（豊岡市からの受託施設）

・センター棟(延床面積:1,140㎡)：

事務室、休憩室、会議室、ロッカー室 等

・野外施設：

芝生グラウンド(14,130㎡)、環境発見遊具、芝生広場、駐車場 等

<重点業務取組>

- ① 施設の特徴を生かした幅広い年齢層が親しめるイベントやスポーツ大会の企画運営
- ② 多様なニーズを踏まえた利用促進事業の実施と効果的な広報
- ③ 県による大規模修繕工事への適切な対応
- ④ オンライン予約の導入によるサービスの向上
- ⑤ 令和5年度の指定管理更新に向けたあり方検討
- ⑥ 新型コロナウイルス感染症対策の徹底〔各施設共通〕

<施設利用実績>

コロナ禍の影響が残るとともに、ドーム棟グラウンドの年間（5～6月を除く）にわたる利用休止が影響し、利用件数・人数ともコロナ禍前の令和元年度を大幅に下回り、かつ前年度をも下回った。

年 度	H30	R元	R2	R3	R4	R4目標
利用件数 (前年度比：%)	6,185 (99.5)	5,693 (92.0)	3,983 (70.0)	4,185 (105.1)	1,933 (46.2)	1,300
利用人数 (前年度比：%)	376,985 (105.0)	355,790 (94.4)	77,073 (21.7)	91,667 (118.9)	63,096 (68.8)	94,000
利用率(%)	96.5	94.5	74.5	74.4	63.9	—

※R4利用率は、ドーム棟5～6月の利用率を記載

<主な事業の実施状況>

① サマーミュージアム

日高神鍋観光協会等と連携し、「神鍋高原のあゆみ～神鍋スキー発祥100周年記念～」と題し、年表や当時のスキー用品などを展示・紹介し、神鍋高原のあゆみと魅力を発信（8/1～31・3,592人）。



② 但馬ドーム×アウトドア2022

芝生グラウンドを活用し、アウトドアにちなんだアトラクションや展示コーナーを設け、無料体験できるイベントを開催（9/4・1,200人）。



③ グラウンド・ゴルフ推進事業

リピーターの満足度向上と参加者間の交流、競技の普及に努めた。

ア 但馬ドームグラウンド・ゴルフクラブ練習会

5～6月の開館期間にドーム棟グラウンド、それ以外は芝生グラウンドにて開催（計8回・2,348人）。

イ 第6回豊岡ノーマイカーデーグラウンド・ゴルフ交流大会

豊岡ノーマイカーデー（毎月第2水曜日）に合わせ、芝生グラウンドにおいて、全但バス神鍋線乗車または徒歩により参加するグラウンド・ゴルフ大会を開催（9/14・76人）。

④ ニュースポーツ月間「御初にお目にかかります!？」

芝生広場等を活用し、フィンランド発祥の「モルック」、フランス発祥の「ペタンク」など各種ニュースポーツを週替わりで紹介し、誰でも無料体験できるイベントを開催（7/4～7/31・119人）。



⑤ 冬遊び月間「今年うさぎ年！但馬ドームで雪遊び！！」

そり遊びやスノーシュー探検、雪像作りなど、土日祝日開催で、子どもから大人まで誰でも気軽に但馬ドームでの雪遊びができるイベントを開催（2月、計6回・352人）。



⑥ 文化事業

センター棟を活用し、年間にわたり文化事業を行った。

ア センター棟ギャラリー

センター棟ロビーギャラリーで写真展、書道展などを企画し、団体・サークルや個人の発表の場を提供

イ 各種サークル活動支援

会議室などの利用促進を目的に、各種サークル活動、文化教室の開催を支援

4 勤労者の福利厚生の実現

(1) 兵庫県中小企業従業員共済事業（愛称：ひょうごファミリーパック）

中小企業従業員の福祉向上と企業の安定した労働力の確保・定着を図るため、県内中小企業に勤務する従業員に対し、企業単独では実施困難な共済事業を展開した。

特に、令和4年度は、共済制度を廃止する西宮市、川西市からの会員の移行加入を促進した。

全体の加入事業所数、被共済者（会員）数については着実に増加しているが、目標数には達していない。福利厚生提携店数は、近年減少傾向にある。一方、福利厚生件数は、余暇活動の再開で回復しコロナ禍前の水準を超えている。また、給付件数も被共済者数の増加に比例して増加している。

<重点業務取組>

- ① 新規会員獲得に向けた加入促進嘱託員による重点加入推進活動の展開
- ② 「非正規雇用労働者福利厚生加入促進事業」による非正規従業員の加入促進
- ③ 人間ドック・インフルエンザ予防接種等を活用した中小企業従業員の健康増進
- ④ 業務の簡素化を目指した新共済管理システム開発の実施

<制度加入実績（各年度末時点）>

4年度末制度廃止の西宮市からの移行加入を順次進め、加入事業所数、被共済者数ともに前年度を上回り着実に増加している。

年 度	H30	R 元	R2	R3	R4	R4 目標
加入事業所数 (前年度比:%)	2,147 (98.2)	2,254 (105.0)	2,346 (104.1)	2,577 (109.8)	2,807 (108.9)	3,100
被共済者(会員)数 (前年度比:%)	26,276 (98.5)	29,029 (110.5)	31,721 (109.3)	34,257 (108.0)	38,135 (111.3)	43,000

<主な事業の実施実績>

① 新規会員獲得に向けた加入推進活動の展開

新規会員獲得に向けて、ホームページ等でPRするとともに、加入促進嘱託員2名を中心に、新規加入企業の掘り起こし、商工会議所・商工会等経済団体や金融機関、西宮市、川西市等関係機関と連携した加入推進活動を展開した。

② 非正規雇用労働者の処遇改善と加入促進

非正規従業員に対し会費の半額を最長3年間助成する県補助事業のメリット等を広くPRし、加入事業所のパートなど非正規雇用労働者の加入促進を図った。

年 度	H30	R 元	R2	R3	R4	R4 目標
非正規新規加入者数 (前年度比:%)	606 (86.6)	1,305 (215.3)	1,179 (90.3)	1,062 (90.1)	1,532 (144.3)	1,400

③ 健康増進メニューの利用補助増額による健康増進意欲の向上

人間ドック及びインフルエンザ予防接種の県補助事業を積極的にPRし、会員の健康増進意欲を高めるとともに、新規及び追加会員の加入促進に努めた。

年 度	H30	R 元	R2	R3	R4	R4 目標
人間ドック・脳ドック利用 件数 (前年度比:%)	227 (212.1)	430 (189.4)	944 (219.5)	1,049 (111.1)	1,201 (114.5)	1,250
インフルエンザ 予防接種利 用件数 (前年度比:%)	3,251 (275.5)	8,308 (255.6)	11,565 (139.2)	8,350 (72.2)	13,539 (162.1)	15,000

④ 福利厚生事業

宿泊・レジャー施設や飲食店等の提携店を利用する際の会員割引や利用補助をはじめ、暮らしに役立つ多様なサービスを、会員ニーズを踏まえながら提供した。

会員が身近に、かつ気軽に利用できる施設や店舗を全県的に確保するため、地域提携店等の開拓を図った。

ホームページやSNS、会報誌「ファミリーパックNEWS」(年4回発行)等を活用して、会員への積極的な情報提供に努めた。

年 度	H30	R 元	R2	R3	R4
福利厚生利用件数 (前年度比:%)	64,796 (108.3)	73,467 (113.4)	64,687 (88.0)	64,959 (100.4)	84,117 (129.5)
利用券(宿泊、飲食)	47,157	49,147	47,475	50,096	59,401
チケット斡旋(映画等)	14,161	15,582	4,703	5,464	9,976
健康増進補助(人間ドック等)	3,478	8,738	12,509	9,399	14,740

年 度	H30	R 元	R2	R3	R4	R4 目標
福利厚生提携店数 (前年度比:%)	2,908 (99.1)	2,949 (101.4)	2,738 (92.8)	2,372 (86.6)	2,282 (96.2)	2,500



⑤ 給付事業

結婚、入学等の祝金、見舞金・弔慰金、勤続報奨金、退職餞別金など、会員及びその家族のライフステージに応じた12種類の給付金を支給(1件あたり3,000~70,000円)した。

きめ細かなサービスとして、会員ごとの給付該当一覧表を年4回発行した。

年度	H30	R元	R2	R3	R4	R4 目標
給付金支給件数	8,514	8,070	9,040	10,243	10,893	12,500
(前年度比:%)	(103.9)	(94.8)	(112.0)	(113.3)	(106.3)	
祝金(結婚、入学等)	2,919	2,654	3,081	3,148	3,419	
見舞金・弔慰金	833	864	1,022	1,085	1,221	
勤続報奨金	3,337	3,294	3,614	4,233	4,621	
退職餞別金等	1,425	1,258	1,323	1,777	1,632	

⑥ 融資斡旋事業

県内に本支店を置く14の指定金融機関と連携し、日常の急な生活費や自動車購入費、住宅資金などに利用しやすい3種類の低利融資(いずれも年1.2%固定金利)の斡旋を行った。

年度	H30	R元	R2	R3	R4
融資件数	10	10	15	5	6
(前年度比:%)	(76.9)	(100.0)	(150.0)	(33.3)	(120.0)
生活資金(融資限度50万円)	0	3	4	1	1
特別生活資金(融資限度200万円)	8	6	7	4	5
住宅資金(融資限度400万円)	2	1	4	0	0

⑦ 離職者生活安定資金融資損失補償事業

中小企業勤労者の雇用の安定を図るため、兵庫県が近畿労働金庫と協調して実施する「離職者生活安定資金融資事業」の損失補償業務(保証機関の日本労働者信用基金協会に対し代位弁済額の5%を補償)を行った。

(件数、〔 〕内：金額(千円))

年 度	H30	R 元	R2	R3	R4	累計(H21. 2～)
保証預かり	3 [10]	0 [0]	2 [8]	1 [5]	0 [0]	120 [527]
損失補償	0 [0]	1 [24]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	27 [437]
回収金	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	10 [117]

⑧ 収入確保策の実施

長期的な収入の安定を図るため、利用券事務手数料など各種手数料や広告宣伝収入等により、収入確保を図った。

(単位：千円)

年 度	H30	R 元	R2	R3	R4	R4 目標
事務手数料等収入額	8,040	7,916	6,003	4,861	5,337	6,000

⑨ 業務の簡素化を目指した新共済管理システム開発の実施

現行の共済管理システムの保守サポート終了を見込み、多様化・複雑化する会員サービスに対応しつつ事務処理の効率化を図るため、新たな共済管理システムの開発を3年度から進めている。

4年度は、基本設計、詳細設計を進め、5年度の移行を目指している。

(2) 勤労者福祉支援事業の推進

県内の勤労者及びその家族の豊かな生活の実現を図るため、勤労者福祉基金を運用して勤労者に対する融資を行ったほか、県域で勤労者への福祉活動を行う団体の活動に対して助成した。

<実施実績>

① 勤労者教育支援資金融資事業（兵庫の学びと教育のローン）

勤労者の能力開発、その家族の教育に必要な資金について、近畿労働金庫と協調(預託額 50,854 千円)して、長期かつ低利(借入限度 200 万円以内、7年以内返済。年率 1.2%固定金利)な条件で貸し付けた。

同事業の利用促進のために、別途必要となる保証料(年 0.7～1.2%)の全額助成を実施した (R2.6 までは 1/2 助成)。

勤労者教育支援資金融資事業
 近畿労働金庫 勤労者福祉基金
 兵庫の学びと教育のローン
 借入限度 200万円以内、7年以内返済。年率 1.2%固定金利
 保証料 全額助成
 借入限度 200万円
 借入期間 7年以内

	H30	R 元	R2	R3	R4	R4 目標
融資実行件数	16	11	20	25	25	40
勤労者スキルアップ支援資金	3	1	0	1	2	—
子弟教育支援資金	13	10	20	24	23	—
保証料助成件数	12	8	15	16	13	40

② 勤労者福祉活動支援事業

勤労者福祉基金の収益等を活用して、全県的に勤労者福祉活動を展開する団体の活動に対し助成した。

助成対象団体（対象事業）	助成金額
兵庫県労働者福祉協議会 〔同協議会が県内 12 地区で展開する文化・スポーツ事業、教育研修事業、交流事業 等〕	200 万円

5 労働・勤労者福祉の調査研究・情報提供・相談

(1) ひょうご労働図書館の運営

中央労働センターロビーを活用した経済・労働関係雑誌の閲覧コーナーの設置、情報誌「図書館にゆ〜す」の発行、SNSの活用などにより、開かれた図書館としての機能強化を図るとともに、利用者ニーズに合わせたサービス向上を進めた。また、勤労者の就業環境の変化やニーズを捉えた労働問題講演会を開催した。

<重点業務取組>

- ① 中央労働センターとの一体的運営による開かれた図書館としての機能強化
- ② 関係機関との連携による図書等の充実と利用者ニーズに合わせたサービス向上
- ③ 勤労者の就業環境の変化・ニーズを捉えた労働問題講演会の開催

<施設利用実績>

図書館利用者数は、前年度を上回っており、コロナ禍前の水準に回復している。図書貸出人数・図書貸出冊数はコロナ禍に伴うステイホームの影響もあり、着実に増加している。

年度	H30	R元	R2	R3	R4	R4目標
図書館利用者数（人）	8,059	8,141	5,402	6,508	8,987	9,000
図書貸出人数（人）	1,673	1,863	1,708	2,069	2,624	2,000
図書貸出冊数（冊）	3,453	4,751	4,725	5,884	6,905	5,500

<主な事業の実施実績>

① 中央労働センターとの一体的運営による開かれた図書館としての機能強化

中央労働センターロビーを活用して、最新の経済・労働関係雑誌が閲覧できるコーナーを引き続き設置するとともに、小泉八雲に関する展示コーナーを図書館内と連携して運営したほか、中央労働センター運営委員会の意見や提言を踏まえて、図書館活動を展開した。



また、新着図書や蔵書の書評、その他図書館に関連する情報を掲載した情報誌「図書館にゆ〜す」を年2回発行し、関係機関や近隣地域に配布したほか、FacebookやTwitterなどSNSも活用して図書館情報を積極的に発信した。



② 関係機関との連携による図書等の充実と利用者ニーズに合わせたサービス向上

関係機関の協力を得て労働専門図書等を一層充実するとともに、利用者のリクエストを踏まえて話題の一般図書等の購入・排架を進めた。

また、ワークライフ・バランス関連図書コーナーを充実するとともに、「アフター・コロナの働き方」やメンタルヘルス、「追悼 稲盛和夫さん」など、利用者の関心の高いテーマによる特集コーナーを設置しているほか、除籍図書を利用者に無償譲渡する古本リサイクル・フェアを開催するなど、利用者ニーズに合わせたサービス向上を推進した。



③ 勤労者の就業環境の変化・ニーズを捉えた労働問題講演会の開催



勤労者をはじめ広く県民一般を対象に、就業環境の変化やニーズを捉え、関心の高い雇用労働問題をテーマとした講演会を2回開催した。

(参加者計 142 名、配信動画視聴 63 回)

区分	開催日/会場	テーマ / 講師	参加者	動画視聴
第1回	7月25日(月) (会場+オンライン)	「ジョブ型雇用社会とは ～ジョブ型雇用の誤解とメンバーシップ型雇用の矛盾～」 (独)労働政策研究・研修機構 研修所長 濱口 桂一郎 氏	当日 89人	(終了後) 63回
第2回	1月25日(水) (会場+オンライン)	「知らないでは済まされない!! 働く場におけるLGBTQへの配慮と対応策」 弁護士 帯刀 康一 氏	当日 53人	— (講師不承諾)
計			142人	63回

(2) 労働相談の実施

労使の相談員2人体制で対応する兵庫労使相談センターの協力の下、労働条件や職場のトラブル等を中心に企業や労働者に対し相談助言を行った。

<相談実施実績>

労働相談数は令和3年度を上回ったが、コロナ禍前の水準には回復していない。

年度	H30	R元	R2	R3	R4
相談件数	296	345	238	200	231

6 その他収益事業の実施

(1) 駐車場の管理運営

兵庫県から土地を借り受け、地域の交通安全対策と県庁来訪者等の利便性確保のため、駐車場を設置し管理運営を行った。



<施設利用実績>

駐車場利用は、月極は全区画契約済みである。県庁南駐車場の時間貸の利用料金は、前年度及び令和元年度を上回り、コロナ禍前の水準に回復した。

(延べ利用台数)

年 度	H30	R元	R 2	R 3	R 4
県庁南駐車場(時間41台・月極25台)	46,666	43,399	37,187	38,481	42,573
諏訪山駐車場(月極18台)	214	216	212	215	209

(2) 自動販売機の設置

兵庫県から指定管理を受けている兵庫県中央労働センター、姫路労働会館及び但馬ドームにおいて、施設利用者の利便性確保のため、施設内・屋外に自動販売機を16台設置し、管理を行った。

7 新型コロナウイルス感染症による事業運営への影響

新型コロナウイルス感染症の三度の拡大期があったものの、感染防止対策と社会経済活動との両立が進んだことから、事業運営への影響は小さかった。

(1) 勤労者福祉施設関係

貸館事業等についてはコロナ禍の影響が残る令和3年度を上回っている。中央労働センター・姫路労働会館はコロナ禍前の令和元年度の実績に迫り、労働図書館はコロナ禍前の実績を超えている。(令和4年度の但馬ドームは、ドーム棟改修工事によりドーム棟グラウンドを利用休止としたため実績の経年比較はできない。)

[上段：利用件数・図書館は利用人数・()：前年同期比 / 下段：利用率・()：前年同期差]

施設名 \ 年月	R1 計	R3 計	R4. 4~6 月	7~9 月	10~12 月	R5. 1~3 月	R4 計
中央労働センター	4,962 (93.3)	3,957 (107.2)	1,122 (141.8)	1,257 (119.0)	1,389 (118.9)	1,119 (118.7)	4,887 (123.5)
	47.7 (▲3.4)	38.6 (2.7)	42.5 (10.7)	47.0 (7.5)	53.8 (8.6)	44.4 (5.5)	46.9 (8.3)
労働図書館	8,141 (101.0)	6,508 (120.4)	2,232 (199.8)	2,231 (150.5)	2,128 (113.0)	2,396 (118.3)	8,987 (138.1)
姫路労働会館	6,065 (96.8)	5,058 (110.1)	1,284 (144.9)	1,280 (105.3)	1,412 (110.7)	1,679 (99.9)	5,655 (111.8)
	52.8 (▲1.8)	46.3 (6.3)	43.7 (6.4)	43.6 (2.2)	50.3 (5.4)	60.6 (0.0)	49.4 (3.1)
但馬ドーム ドーム棟グラウンド利用休止 (5~6月を除く)	5,693 (92.0)	4,185 (105.1)	852 (87.9)	439 (49.6)	342 (28.1)	300 (26.9)	1,933 (46.2)
	94.5 (2.1)	74.4 (▲0.1)	63.9 (▲7.0)				63.9 (▲10.5)

(2) その他サービス部門

ファミリーパックの加入促進については、コロナ禍による事業所訪問の自粛等はなかったが、西宮市共済・川西市共済の廃止に伴って両会員のファミリーパックへの移行促進事務が生じたことから、商工会議所・商工会を通じたPRに比重を置いて活動を展開した。

一方、WLB推進支援のためのコーディネーターの派遣件数は、コロナ禍前を上回る水準で推移している。

[()：前年同期比]

年 月	R1 計	R3 計	R4. 4~6 月	7~9 月	10~12 月	R5. 1~3 月	R4 計
仕事と生活センター コーディネーター等派遣件数	1,771 (165)	2,103 (105.3)	541 (88.3)	484 (94.9)	533 (89.4)	403 (104.9)	1,961 (93.2)
ファミリーパック 加入促進囑託員訪問事業所数	513 (-)	86 (58.5)	13 (108.3)	6 (21.4)	12 (37.5)	10 (71.4)	41 (47.7)